

第2章 白子町の子どもと子育て家庭の現状と課題

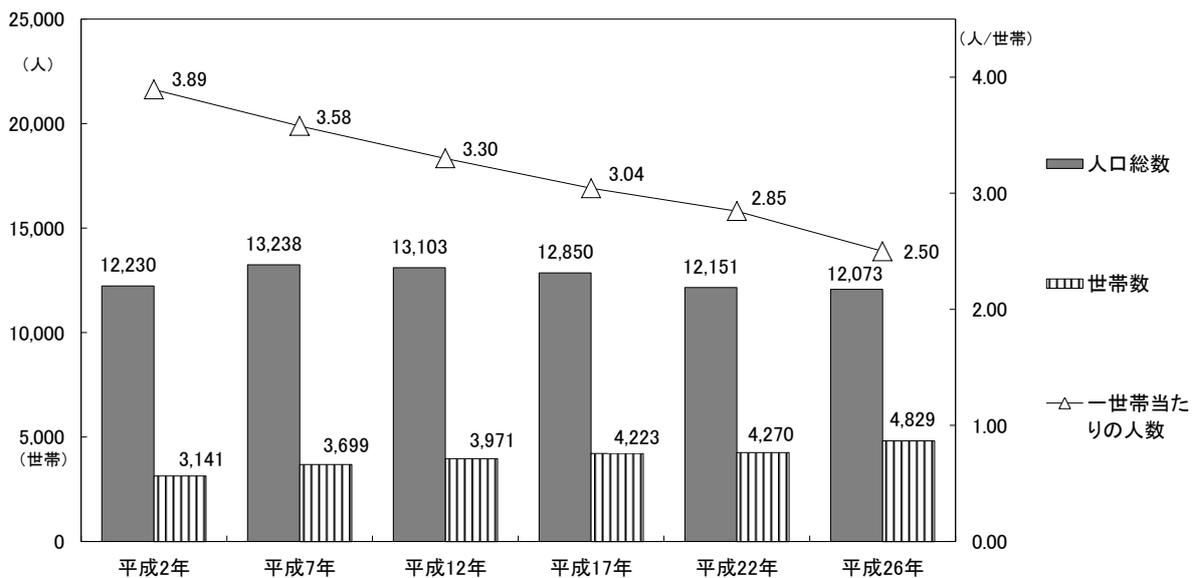
第1節 人口や世帯等の状況

1 総人口と総世帯の状況

平成26年4月1日現在、本町の人口は12,073人で、世帯は4,829世帯、一世帯当たりの人口は2.50人となっています。人口の推移をみると、平成2年から平成7年にかけて一時増加したものの、平成7年以降、減少が続いています。一方、世帯数の推移については、平成2年以降増加し続けています。このことから、一世帯当たりの人口は減少し、平成22年以降3.0人を割り、世帯の少人数化が顕著となっています。

■人口と世帯数の推移 資料：国勢調査(平成2年～平成22年)、住民基本台帳(平成26年)

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成26年
人口総数	12,230	13,238	13,103	12,850	12,151	12,073
男性	5,927	6,459	6,401	6,272	5,944	6,003
女性	6,303	6,779	6,702	6,578	6,207	6,070
世帯数	3,141	3,699	3,971	4,223	4,270	4,829
一世帯当たりの人数	3.89	3.58	3.30	3.04	2.85	2.50

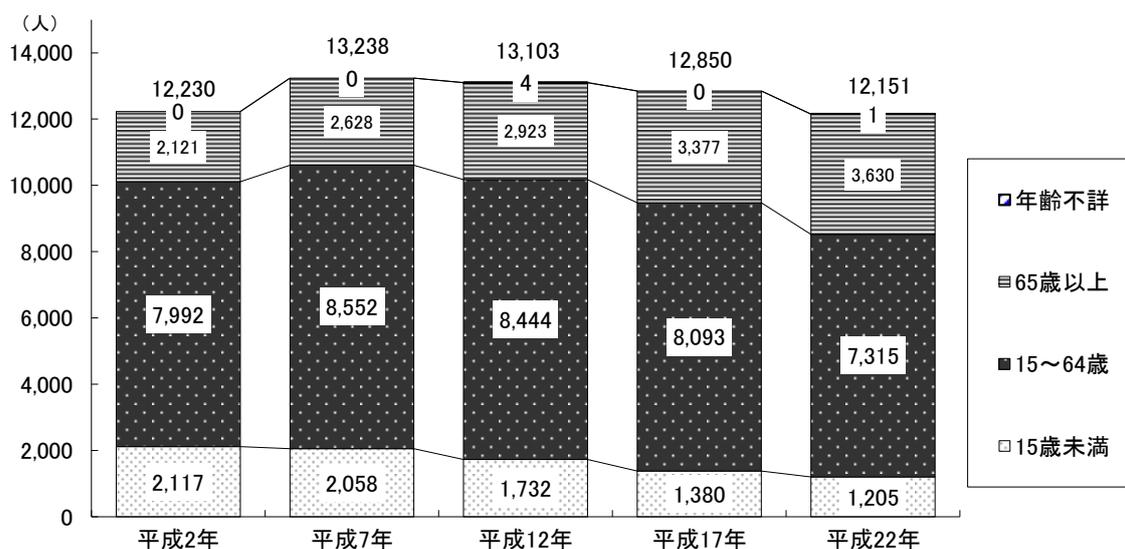


2 年齢3区分人口の推移

平成22年の国勢調査によると、本町の15歳未満の年少人口は1,205人で、年少人口比率は9.9%である一方、65歳以上の老年人口は3,630人で、老年人口比率は29.9%となっています。年齢3区分の人口の推移をみると、少子・高齢化の進行しており、平成2年と平成22年を比較すると、年少人口が7.4ポイント減なのに対し、老年人口は、12.6ポイント増となっています。

■年齢3区分人口構成の推移 資料:国勢調査

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
総人口	12,230	13,238	13,103	12,850	12,151
15歳未満	2,117	2,058	1,732	1,380	1,205
割合	17.3%	15.5%	13.2%	10.7%	9.9%
15～64歳	7,992	8,552	8,444	8,093	7,315
割合	65.3%	64.6%	64.4%	63.0%	60.2%
65歳以上	2,121	2,628	2,923	3,377	3,630
割合	17.4%	19.9%	22.3%	26.3%	29.9%
年齢不詳	0	0	4	0	1
割合	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%



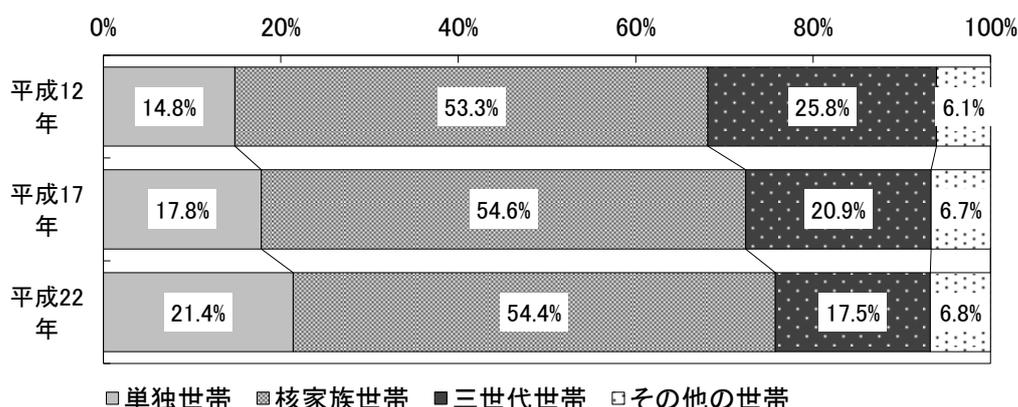
3 世帯類型等の推移

国勢調査によると、平成22年の一般世帯数の合計は、4,270世帯で、核家族世帯が2,322世帯、三世帯世帯が746世帯、単独世帯が913世帯となっています。平成12年からの構成割合の推移をみると、単独世帯と核家族世帯が増加し、三世帯世帯が減少しています。

18歳未満の親族のいる世帯数は、平成22年では902世帯、一般世帯の21.1%で、減少が続いています。

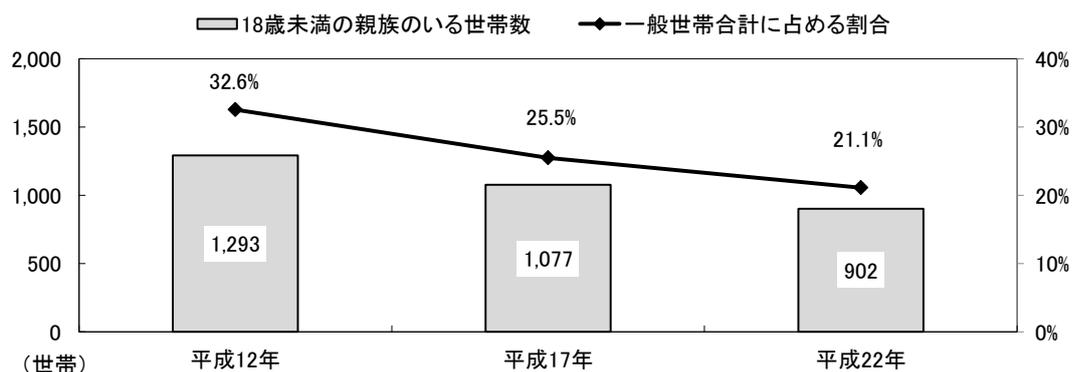
■世帯類型の推移 資料:国勢調査

	平成12年		平成17年		平成22年	
	世帯	割合	世帯	割合	世帯	割合
単独世帯	588	14.8%	752	17.8%	913	21.4%
核家族世帯	2,118	53.3%	2,306	54.6%	2,322	54.4%
三世帯世帯	1,024	25.8%	882	20.9%	746	17.5%
その他の世帯	241	6.1%	283	6.7%	289	6.8%
合計(一般世帯数)	3,971	100.0%	4,223	100.0%	4,270	100.0%



■18歳未満の親族のいる世帯数の推移 資料:国勢調査

	平成12年	平成17年	平成22年
18歳未満の親族のいる世帯数	1,293	1,077	902
一般世帯合計に占める割合	32.6%	25.5%	21.1%



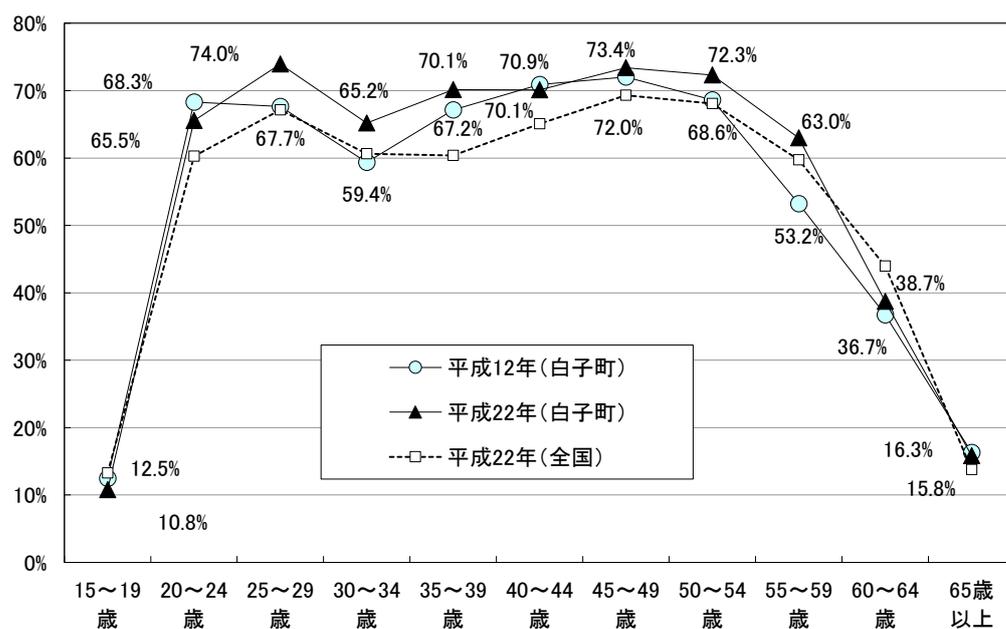
4 女性の就業状況

年齢別にみた女性の就業率の傾向については、平成22年と平成12年を比較すると、出産・育児期にあたる20歳代後半から30歳代にかけての就業率が下がる、いわゆるM字型曲線の傾斜は緩やかになっているものの、おおむねどの年齢層においても就業している割合は、平成12年を平成22年が上回っています。出産や育児を契機に離職せず、就業を続ける人が増えていることが考えられます。

また、平成22年度について、本町と全国を比較すると、20～60歳までの女性の就業率は本町の方が高くなっており、本町の女性の就業割合が高い傾向にあると言えます。

■女性の就業者数の推移 資料:国勢調査

	平成12年			平成17年			平成22年		
	就業者数	人口	割合	就業者数	人口	割合	就業者数	人口	割合
15～19歳	51	409	12.5%	37	344	10.8%	30	260	11.5%
20～24歳	235	344	68.3%	215	328	65.5%	166	266	62.4%
25～29歳	251	371	67.7%	230	311	74.0%	209	294	71.1%
30～34歳	206	347	59.4%	223	342	65.2%	185	275	67.3%
35～39歳	229	341	67.2%	235	335	70.1%	250	343	72.9%
40～44歳	290	409	70.9%	244	348	70.1%	243	333	73.0%
45～49歳	355	493	72.0%	295	402	73.4%	236	338	69.8%
50～54歳	374	545	68.6%	363	502	72.3%	281	390	72.1%
55～59歳	255	479	53.2%	359	570	63.0%	317	504	62.9%
60～64歳	158	430	36.7%	199	514	38.7%	291	591	49.2%
65歳以上	273	1,676	16.3%	302	1,906	15.8%	297	2,039	14.6%
合計	2,677	5,844	45.8%	2,702	5,902	45.8%	2,505	5,633	44.5%



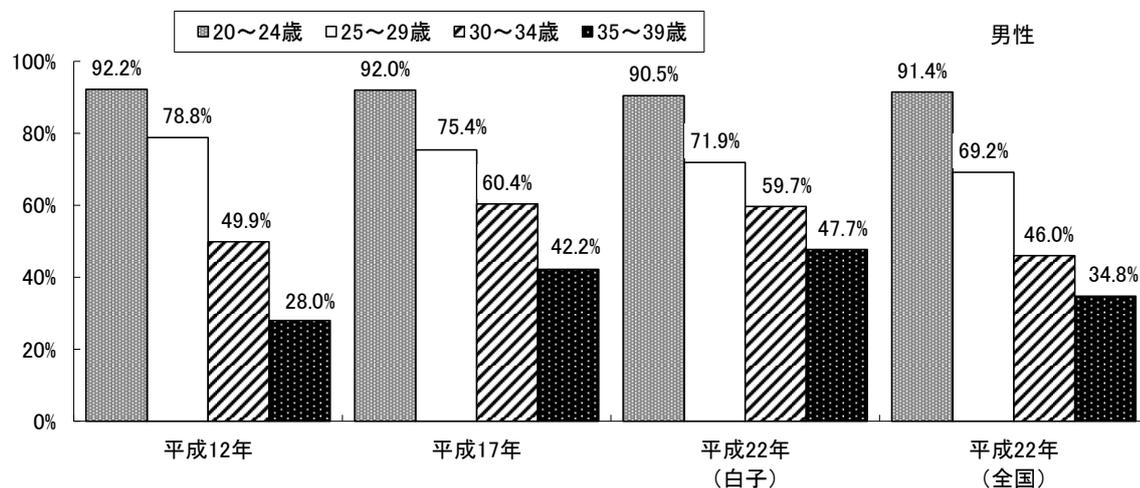
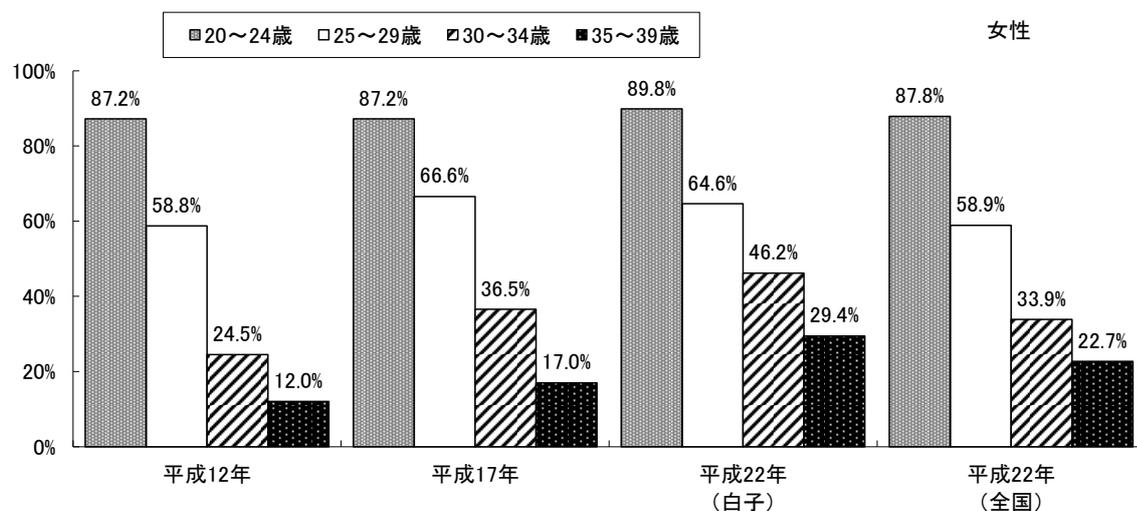
5 配偶関係の状況

平成22年の20歳代、30歳代の未婚率（離婚した人は含まない）をみると、35～39歳の層でも、男性の47.7%、女性の29.4%が未婚となっています。この割合は、女性は平成12年の約2倍、男性は約1.5倍に当たり、晩婚化・非婚化の傾向がうかがわれます。

平成22年の全国値と本町の値を比較すると、男女共に20歳代前半を除きどの年代でも全国値よりも未婚者数の割合が高くなっています。

■配偶関係の状況 資料:国勢調査

性別	年齢区分	平成12年		平成17年		平成22年	
		人数	未婚の割合	人数	未婚の割合	人数	未婚の割合
女性	20～24歳	300	87.2%	286	87.2%	239	89.8%
	25～29歳	218	58.8%	207	66.6%	190	64.6%
	30～34歳	85	24.5%	125	36.5%	127	46.2%
	35～39歳	41	12.0%	57	17.0%	101	29.4%
男性	20～24歳	296	92.2%	286	92.0%	237	90.5%
	25～29歳	294	78.8%	242	75.4%	202	71.9%
	30～34歳	174	49.9%	233	60.4%	179	59.7%
	35～39歳	101	28.0%	146	42.2%	179	47.7%



6 出生数の推移

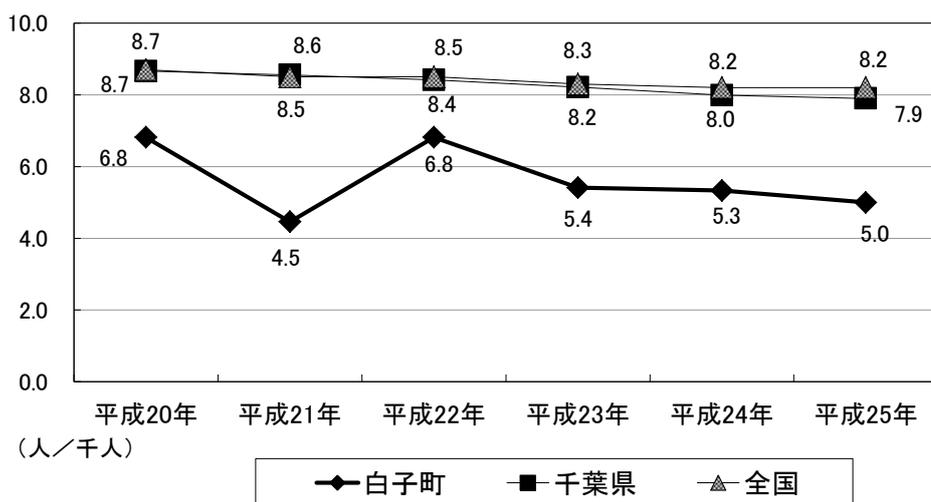
本町の出生数は、平成25年には、53人となっており、年々減少が続いています。人口1,000人当たりに対する出生数は、平成25年は5.0となっています。平成20年以降の推移をみると、平成21年に4.5まで減少したものの、それ以外の年は5.0～7.0の間で横ばいとなっています。

合計特殊出生率については、0.88と突出して低い値となった平成21年を除いて、1.0～1.5の間で変動しています。また、平成23年以降、全国や県の平均と比較して低い値となっています。

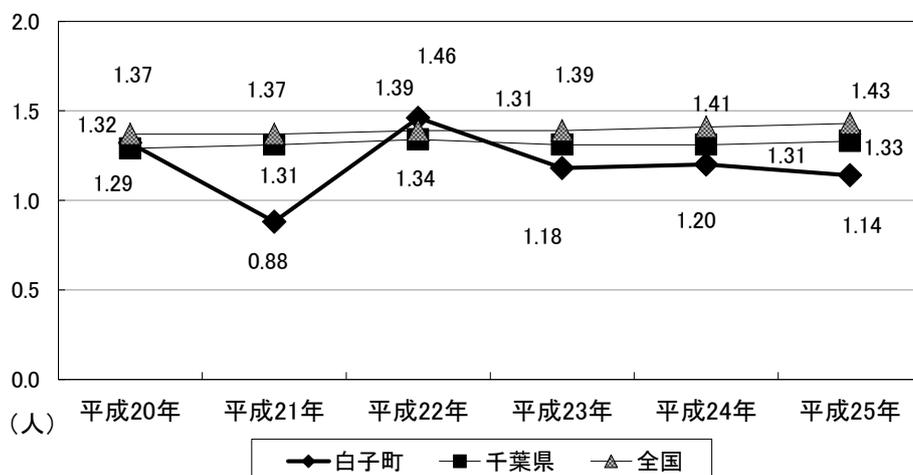
■出生数の推移

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
82	55	88	66	68	53

■出生率の推移 資料：千葉県保健所統計年報



■合計特殊出生率の推移 資料：千葉県保健所統計年報



第2節 白子町における保育サービスの状況

1 保育所の状況

認可保育所は、公立が3か所あります。保育所の利用者数はほぼ横ばいとなっているものの、出生児数との比較では、保育所のニーズは高まっていると言えます。また、3歳未満児の入所が増えており、保育士の確保・配置の工夫に努めています。

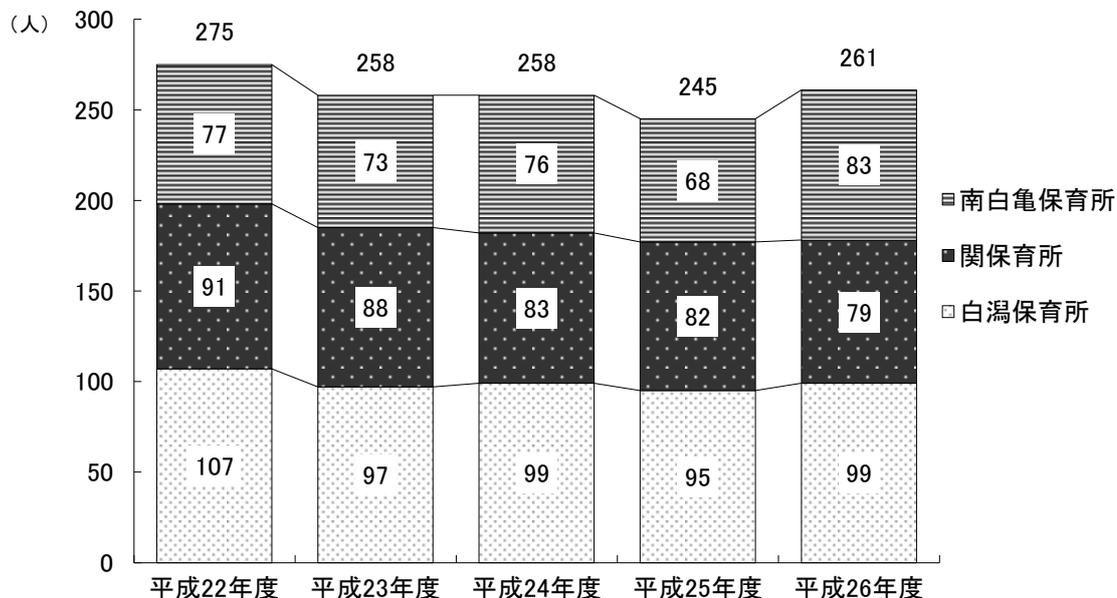
一時保育については、南白亀保育所で実施しており、生後6か月から就学前の児童を対象に1日定員6人で実施しています。延長保育については7時半～8時、16時～19時の時間で全ての保育所で実施しています。土曜日保育については、関保育所（平成26年現在）で実施しています。

■保育所概要

	所在地	定員	延長保育	一時保育	土曜日保育
白潟保育所	八斗 1486	150	○		
関保育所	関 6722	100	○		○
南白亀保育所	牛込 85	100	○	○	

■保育所の入所者数の推移(各年4月1日現在)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
白潟保育所	107	97	99	95	99
関保育所	91	88	83	82	79
南白亀保育所	77	73	76	68	83



■一時保育利用者数の推移(年間延べ人数)

	平成22年度※	平成23年度	平成24年度	平成25年度
南白亀保育所	189	435	591	638

※平成22年6月より開始。

2 妊婦健康診査

妊婦健康診査については、14 回分の健診費用の助成を行っています。

■利用者数の推移(年間延べ件数)

平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
948	879	776	721

3 新生児・妊産婦訪問指導

育児不安を軽減するために、全出生児に対して保健師が訪問しています。

■利用者数の推移(年間延べ人数)

平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
86	73	67	55

4 病児・病後児保育事業

酒井医院内、病児保育所ラッコッコで、月・火・水・金・土（木曜・日曜及び祝祭日は休み）に開設しています。

■利用者数の推移(年間延べ人数)

平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
1,253	1,343	1,310



5 放課後児童健全育成事業（学童保育）

平成 24 年度から各小学校区に 1 施設、3 か所で実施しています。いずれも民設民営（保護者会）による運営です。

■学童保育の概要

	定員	所在地
なのはなキッズクラブ	40(目安)	中里 2670(旧JA長生白濁支所)
げんきっ子クラブ	40(目安)	関 3889-1(関小学校)
かめっこクラブ	40(目安)	牛込 12(南白亀小学校)

■利用者数の推移

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
なのはなキッズクラブ	46	43	36	47	35
げんきっ子クラブ	—	—	22	23	23
かめっこクラブ	—	—	5	24	19
合計	46	43	63	94	77

6 その他のサービス

- ・ 毎年 2 月に出生祝記念樹の配布をしています。
- ・ ことばや行動の発達に不安がある未就学児を対象に『こあらっこ』※（個別発達相談）を実施しています。
- ・ 町内在住の 0～2 歳未満の子どものいる家庭に対し、子育て環境の向上と子育て応援として使用済みのおむつ用ごみ袋を無料で配布しています。

※こあらっこ

つくも幼児教室の心理相談員と保健福祉課保健師の計 2 名が月 1 回相談を受けています。件数は、月 1～2 件程度であり、相談がない月は 3 保育所へ訪問することもあります。

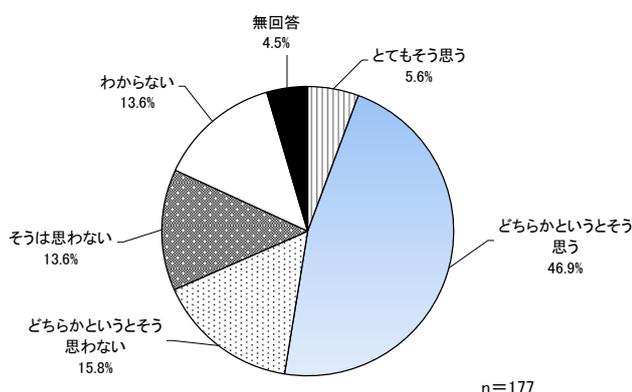


第3節 アンケート調査からみた白子町の子育て環境について

1 子育てしやすいまちづくりについて

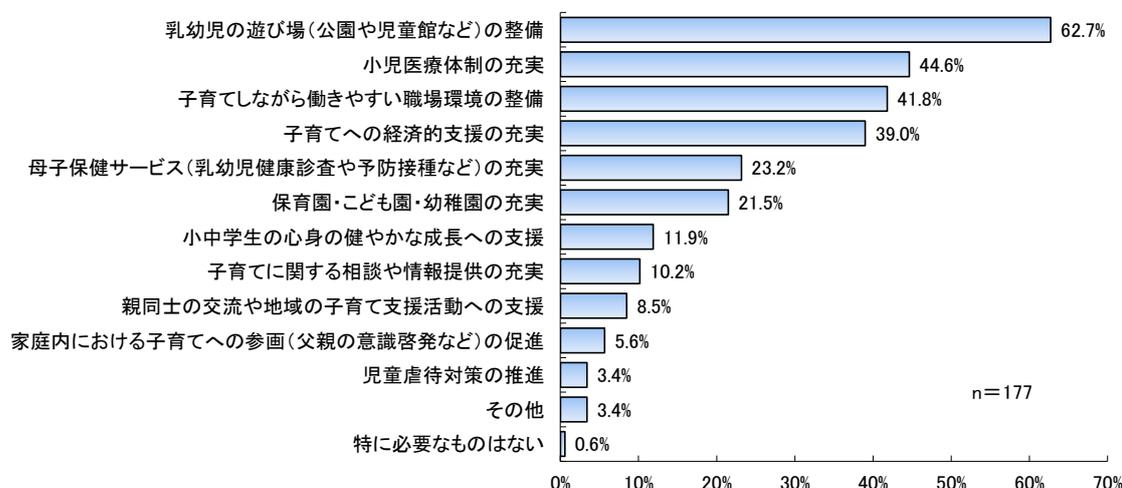
白子町が子育てしやすい環境であると感じているかについては、『そう思う』（「とてもそう思う」＋「どちらかというと思う」）と回答した人が5割を超えています。

「白子町は、子育てしやすいまち」であると思う割合



子育てをしやすいまちづくりのために重要だと思うことについては、「乳幼児の遊び場（公園や児童館など）の整備」（62.7%）が最も多く、次いで「小児医療体制の充実」（44.6%）、「子育てしながら働きやすい職場環境の整備」（41.8%）と続きます。

子育てをしやすいまちづくりのために重要だと思うこと（複数回答）

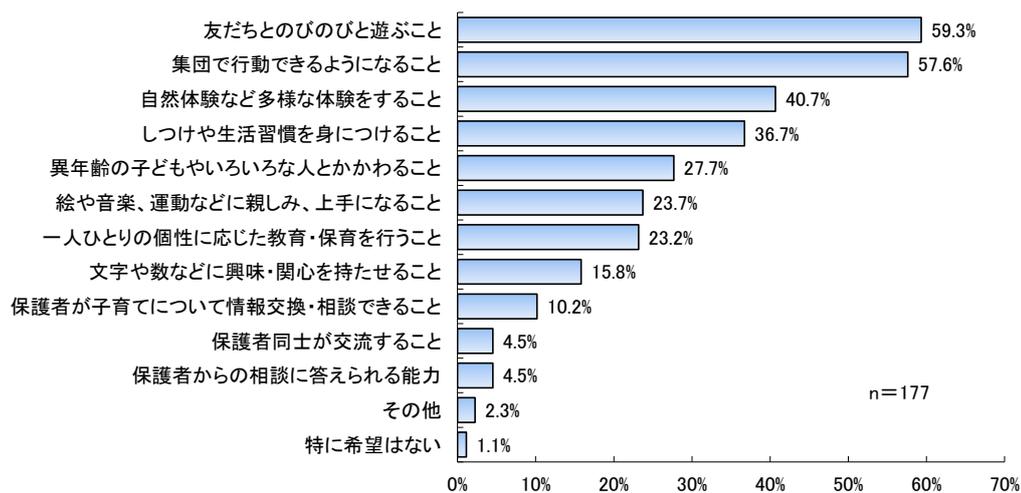


資料：白子町子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査（平成26年12月）

2 教育・保育に求めること

保育所などに望むことについては、「友だちとのびのびと遊ぶこと」(59.3%)が最も多く、次いで「集団で行動できるようになること」(57.6%)、「自然体験など多様な体験をすること」(40.7%)と続きます。

保育所などに望むこと（複数回答）



資料：白子町子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査(平成26年12月)

